

業 務 状 況 説 明 書

令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 9 月 3 0 日

八街市水道課

1. 事業の概況

令和 5 年度上半期の給水戸数は、J R 総武本線の北側地区が 8 月末で 8,364 戸、南側地区が 9 月末で 7,183 戸、合計 15,547 戸（給水人口 35,603 人）であり、前年度同期 15,336 戸に比べて 211 戸増加となりました。

また、使用水量は 1,553,343 m³であり、前年度同期 1,551,597 m³に比べて 1,746 m³、0.1%増加し、水道料金の調定額は、390,925,570 円（うち消費税 35,517,308 円）であり、前年度同期 387,155,140 円（うち消費税 35,174,202 円）に比べて 3,770,430 円、1.0%の増加となりました。（給水人口：一世帯 2,290 人で算出）

2. 経理の状況

収益的収入及び支出では、水道事業収益は 418,585,063 円で予算現額 1,207,087,000 円に対して 34.6%の調定率となりますが、1年間分の長期前受金戻入のうち半年経過分として、予算現額の半額 23,057,000 円を加えると 36.5%の調定率となりました。その内訳として、給水収益（水道料金）が 390,925,570 円で 49.3%、給水申込負担金が 25,960,000 円で 57.4%の調定率となりました。

水道事業費用は、支出負担行為済額 522,165,376 円で、予算現額 1,074,583,000 円に対して 48.5%の執行率ですが、1年間分の減価償却費のうち半年経過分として、予算現額の半額 99,015,500 円を加えると 57.8%の執行率となりました。

資本的収入及び支出では、資本的収入は、固定資産売却代金 66,838 円で、予算現額 259,772,000 円に対して 0.02%の調定率となりました。

資本的支出は、建設改良費 190,379,092 円、企業債償還金 90,255,739 円が支出負担行為済額で、予算現額 664,458,000 円に対して、42.2%の執行率となりました。

3. 資金収支の状況

収入済額 433,933,791 円、支出済額 625,081,329 円、収支差引 191,147,538 円減となり、前年度繰越金 899,782,597 円と合わせると、708,635,059 円が次期に繰り越されることになりました。

4. 令和 4 年度決算の状況

(1) 経理の状況

令和 4 年度収益的収支(税抜き)の状況は、水道事業収益 1,181,597,523 円に対し、水道事業費用 927,857,004 円であり、収支差引 253,740,519 円の純利益が生じ、減債積立金の取崩しに伴い発生したその他の未処分利益剰余金変動額 140,000,000 円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は、393,740,519 円となりました。

資本的収支(税込み)の状況は、収入総額 4,200,000 円に対して支出総額 218,747,838 円であり、収入額が支出額に対して不足する額 214,547,838 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 914,975 円、減債積立金 140,000,000 円、過年度分損益勘定留保資金 73,632,863 円で補填しました。

(2) 主な建設改良工事の概況

施設改良工事実施設計として、榎戸配水場外監視制御設備更新工事実施設計と上水道更新工事実施設計を 1 か所実施しました。